



入場無料

名古屋市文化基金事業
ファン・デ・ナゴヤ美術展 2020

2020年1月9日(木) — 26日(日)

9:30 - 19:00

[13日(月・祝)、19日(日)、26日(日)は17:00まで]

※月曜休館日(祝休日の場合は翌平日)

名古屋市民ギャラリー矢田
第1展示室

世界を正確に
捉えられて
いるのだろうか？

下
手
が
あ
る
の
で、
上
手
が
知
れ
る

後藤 あこ
山中 奈津紀

名古屋市文化基金事業
ファン・デ・ナゴヤ美術展 2020

2020年1月9日(木) — 26日(日)

9:30 - 19:00

[13日(月・祝)、19日(日)、26日(日)は17:00まで]

※月曜休館日(祝休日の場合は翌平日)

名古屋市民ギャラリー矢田
第1展示室

「下手があるので、上手が知れる」は何事も比較するものがあるからこそ、その価値が分かるという意味を持つことわざです。比較する対象があるからこそ、その存在を知ることです。では「下手」と「上手」とは、何を基準に分類され、その価値を決定されるのでしょうか。比較によって生まれたカテゴリーは、世界を分かりやすく分類し、整理し、定義させますが、一方でカテゴリーから超えることを許さぬ足かせとなり、世界を硬直させます。

そんなとき、「世界を正確に捉えられているのだろうか」と、私たちは疑問を抱くのです。

この問いの前に立ち尽くすとき、それぞれの価値を定義するためであった比較は、その定義を疑う方法ともなりえます。そのとき、「下手」は「上手」になり、「上手」が「下手」になる、あるいはそのどちらでもなく、またどちらにもなりません。

本展の作家である後藤・山中は、彫刻をメディアとするアーティストです。三次元に由来する彫刻は、さまざまな「下手」や「上手」に擬態します。そして私たちと同じ重力・原理を持ってカテゴリーを超えていくでしょう。

「本当にそうだろうか」と。

【比較するからこそ、 その価値がわかる】

世界を正確に
捉えられて
いるのだろうか？

上手が知れる 下手がある

山中奈津紀
後藤 あこ

後藤 あこ

GOTO AKO

主な展覧会

2012年『Installation of Terracotta』(LIXIL GINZA ガリレアセラミカ/東京)、2014年 アートアワードトーキョー丸の内2014(行幸ギャラリー/東京)、2015年 REN-CON ART PROJECT(名古屋市芸術創造センター/愛知)、2018年 個展“Dear Gray”(Art space&Cafe Barrack/愛知)、2019年 群馬青年ビエンナーレ2019(群馬県立近代美術館/群馬)、2019年 瀬戸現代美術展2019(瀬戸サイト/愛知)

幼いころから演劇に親しんだ経験から、具象彫刻が連れてくるストーリー性を利用し、もしくは否定しながら演劇的なインスタレーション作品を発表している。模倣・擬態する具象彫刻の性質と場面設定を掛け合わせてイメージを制作することで、具象彫刻そのものの性質を問う。本展覧会では彫刻におけるフィクションやノンフィクションの関係性をテーマに作品を展開する。



《back and forth》2014年



《ままごと》2016年

山中奈津紀

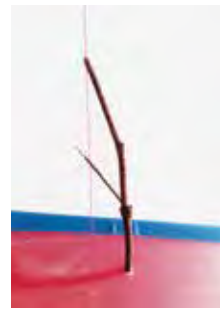
YAMANAKA NATSUKI

主な展覧会

2009年 個展「ソラムクカチ」(ギャラリー名芳洞/愛知)、2010年 個展「イマココ」(ギャラリー名芳洞/愛知)、2012年 行動美術新人選抜展(井上画廊/東京)、2015年 ENSEMBLE CAST (PiGallery/愛知)、2018年 個展「世界は近く」(ギャラリー RIEN/愛知)、2018年「Blue Box in Winterthur」(Galerie Labusch/スイス)、2019年 個展「バナナポートがきらめく世界」(ギャラリー RIEN/愛知)



《檻の世界のそのきもち》2018年



《檻の世界のそのきもち》2018年



《バナナポートがきらめく世界》2019年

この世界には、わたしがいて、あなたがいる。街にはビルがそびえ、道には石ころが転がり、山頂には雪が積もる。遠くの国で祭りが行われ、昨日素敵な夢をみた。金色のラッパは涙を流し、クジラは空を飛ぶ。マイノリティーとマジョリティーとの比較から生じる存在認識を作品に展開。実存在がイメージを越えてゆくことを前提として、時間や概念を超えたこの世界のあらゆる存在の証明を試みている。

関連イベント

1. アーティストトーク

ゲストを交えてアーティストトークを行います。

日時：2020年1月11日(土) 15:00 -

会場：名古屋市民ギャラリー矢田
第1展示室

出演：後藤あこ、山中奈津紀

ゲスト：吉田有里(コーディネーター/
MAT, Nagoya ディレクター)

※入場無料

2. ギャラリーツアー & アートトーク

日時：2020年1月18日(土)

[ギャラリーツアー] 13:00 - 14:00

会場：名古屋市民ギャラリー矢田

[アートトーク] 15:30 - 17:00

会場：青少年文化センター 7th Cafe

出演：後藤あこ、山中奈津紀、
進行役・田中由紀子(美術批評/ライター)

※参加費各500円・事前申込制・先着順。詳細は名古屋市
青少年文化センター(052-265-2088)へお問い合わせください。

同時開催の展覧会情報

1. ここに在るということ

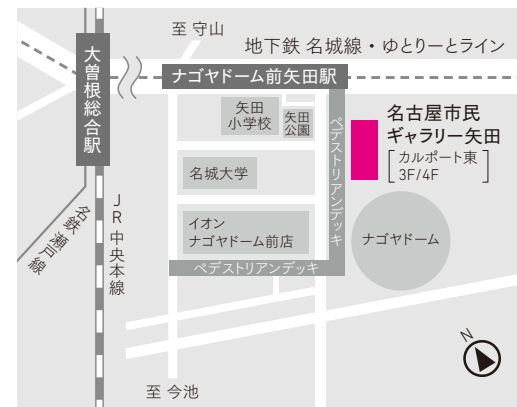
会場：第2-4展示室 / 企画：三枝由季/
出品作家：飯田美穂、大島歩、加納明香、
近藤夕琴、阪本結、三枝由季、中野磨里、
西松秀祐、西山弘洋、濱口綾乃、福島紀子、
船戸彩子、松野真知、前川宗陸

2. コンステレーション/布置された星

～あなたとわたしの冒険譚～

会場：第5-7展示室 /
企画・出品作家：垂谷知明

会場	名古屋市民ギャラリー矢田 第1展示室 名古屋市中区大幸南一丁目1番10号 カルポート東 4F TEL 052-719-0430 https://www.bunka758.or.jp/scd19_top.html
アクセス	・地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」下車 1番出口南へ徒歩5分 ・ゆとりとライン「ナゴヤドーム前矢田」下車 南へ徒歩3分 ・市バス「大幸」下車 徒歩5分(名駅15号系統、東巡回系統) ※車台数98台(駐車場は東文化小劇場・東図書館・東スポーツセンターと共用です。) ※他施設催事により入出庫が混み合う場合がございますのでご了承ください。
お問合せ	公益財団法人名古屋市文化振興事業団 TEL 052-249-9385(9:00-17:00) http://www.bunka758.or.jp



NOMURA 野村財団

主催：ファン・デ・ナゴヤ美術展「下手があるので、上手が知れる」実行委員会/公益財団法人名古屋市文化振興事業団